平成30年4月15日発行　2018年4月号　小淀ホーム広報誌　通巻67号

KOYODO　HOME

小淀ホーム

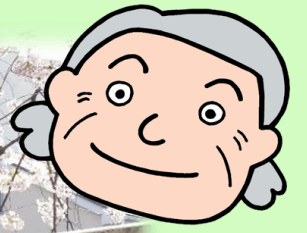
寿楽

JYURAKU

平成30年4月号

Since 1996

お花見

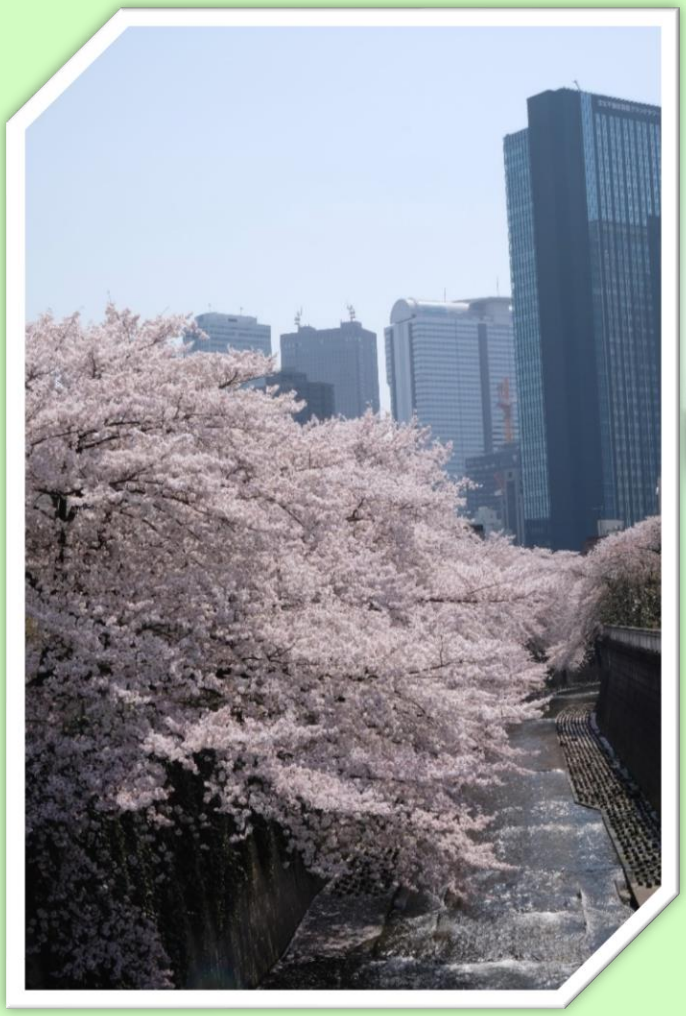


見事な桜並木　いい天気

春爛漫、すぐそばの神田川にみなさんとお花見散歩をしました。今年もみなさんで出かけられて最高の時間を過ごせました。

満開の神田川

満開の桜に誘われてか、ウグイスの鳴き声も聞こえました。



高層ビルと満開の桜。
ビルも桜色に染まってる？

川面に桜の花びらが流れ、いつもと違う川の装いできれいでした。

新任職員紹介

新年度になり異動や新規採用により着任した職員です。
どうぞよろしくお願いします。

介護職、看護職

勅使河原　和哉
（特養ケアワーカー主任）
しらさぎホームから異動してまいりました。みなさまが楽しく過ごせるホームにしていきます。

尾嵜　幸子
（看護師）
不慣れですが頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

渡　弥生
（特養ケアワーカー）
日々走りまわって頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

保坂　光枝
（デイサービスケアワーカー）
第２の人生を歩んでいます。頑張ります。

厨房のみなさん

今年度から給食業務委託により勤務しています。
おいしいお食事を利用者様にお届けします。

平成30年度小淀ホーム事業計画

事業計画を策定しました。小淀ケア（利用者様個々に寄り添ったケア）を推進します。

運営理念
「スマイル小淀！私たち自身が受けたいサービスを、必要とする人に届けます」

1　運営方針

①　安心・安全を第一に、利用者本位のサービスを提供します。
②　福祉・介護・医療の専門職として考えて実践できる職員を育成します。
③　在宅生活および認知症支援の拠点として地域に貢献する活動を実践します。
④　利用者・職員・地域がいきいきとできる施設運営を行います。

2　小淀ホームの将来の姿

小淀ホームは、利用者の尊厳を大切にした質の高いチームケアを提供し、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域の拠点となる多機能施設になります。

3　重点目標

ア　チーム力アップと働きやすい職場づくり

①　職員同士のコミュニケーションを活性化し、チーム力をアップします。
②　業務の進め方を見直すことで利用者と触れ合う時間を生み出します。
③　認知症ケアの専門職としての力が発揮できるようにします。
④　特養とデイサービスの職員間交流を実施することでケアに関する視野を広げます。

イ　利用者個々にあった個別ケアの充実　～小淀ケア～

①　全職員が同じ視点で利用者をケアすることができるようチームケアの体制を整備します。
②　認知症の理解を深めるための教育を進めます。
③　利用者本位のケア（個別ケア）を充実することが事故防止につながることを認識し、ケア方法の見直しを実施します。

ウ　安定した基本サービスの提供

①　介護プロフェッショナルキャリア段位制度の活用により、適切な介護技術の定着に取り組みます。
②　我がことと捉え、より細やかにサービス提供が行えるようにするため、プロ意識の向上に取り組みます。

エ　地域福祉の未来を担う活動の実践

①　地域活動の充実を図り、地域の認知症の人と家族、地域住民、専門職等が一体となった福祉サービスの展開に取り組みます。
②　地域の一員として、地域の活動に積極的に参加します。

オ　安定した施設運営

給食業務委託化による運営を円滑に移行、実施していくため、進行管理と関係部署及び業者との情報交換を適切に実施します。